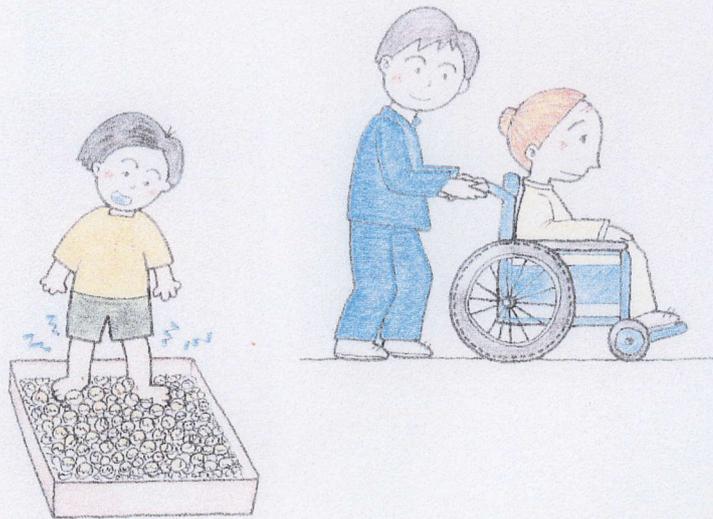


2009 秋

# 実施報告書

## こども エコ防災塾

2009年11月15日(日)



- 主催 社団法人神奈川県青少年協会  
社会福祉法人海老名市社会福祉協議会  
海老名災害ボランティアネットワーク
- 後援 海老名市  
海老名市消防本部  
海老名市教育委員会
- 協力 海老名市赤十字奉仕団

1 日時 平成21年11月15日(日) 午前10時~午後3時

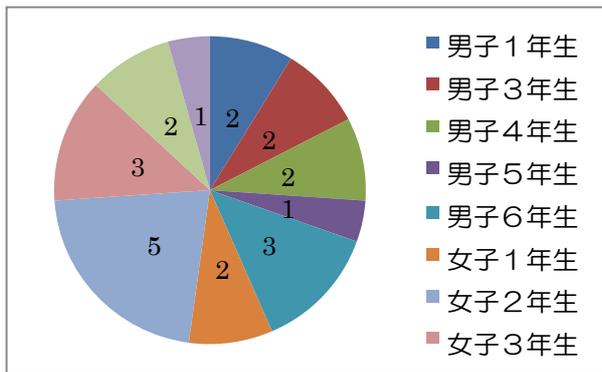
2 参加者 児童23名

申込者40名

学級閉鎖により参加取りやめ者6名(兄弟を含む)

体調不良のため参加取りやめ者11名

参加者の学年別男女別内訳表



男子10名、女子13名で男子の2年生と女子の5年生の参加はありませんでしたが、男女併せてみれば、1年生から6年生まで各学年揃っています。

3 実施場所 海老名市役所南側芝生広場

4 実施内容

(1) 開塾式



社会福祉法人海老名市社会福祉協議会地域福祉課増田芳夫課長及び海老名市災害ボランティアネットワーク橋本賢司代表から主催者としての挨拶があった。

(2) 座学

資料に基づき、読み上げてこの子どもエコ防災塾における約束事を子ども達と結んだ。

(3) 卵殻踏み体験



ガラスの破片に見立てた卵殻踏み全員が靴下を脱いで、裸足で体験した。卵の殻でも裸足で踏むとその痛さは感じられ、ガラスの破片の怖さを知ることができる。

しかし、痛さ以上に卵殻を踏み割る快感が子ども達にはあるようで、再度のチャレンジをしていたが、アンケートによれば、ガラスの破片の怖さを認識したようである。

#### (4) 小さな傷対応



海老名市赤十字奉仕団萩原梅子委員長及び奉仕団方々の御指導により、最初は三角巾の基本的な使用方法を教わる。

本結び及び解き方、次ぎに腕の傷を覆う方法を、子ども達が真剣に行っていた。特に本結びは大多数の子ども達が覚えており、午後のロープワークで本結びは出来ると言い、海老名市消防の指導の方が感心していた。

小さな傷の手当てとして、小さなゴミ袋を手袋代わりに使用して圧迫止血を行い、水で傷を洗い、バンドエイドの貼付



を習った。先に奉仕団の方々が見本を示し、その後子ども達が奉仕団の方々の御指導により行った。

また少し大きな傷の手当てとして、ラップに白色ワセリンを塗り傷に張りテープで止めることを習った。ただし、白色ワセリンは付いた手などを洗うことが難しいため、塗ったつもりで実施した。子ども達は、皆真剣なまなざしで行っていた。

#### (5) 車椅子救護



海老名市社会福祉協議会の方々の御指導の基、災害時に迅速な避難が困難な方々を、早く避難していただくように、支援する方法の一つとして、車椅子の利用や、また、迅速な避難が困難な状況の疑似体験を行った。

2班に分かれ、A班は車椅子の押方を習い、海老名市役所の駐車場から歩道に出てまた駐車場に戻るコースを一周した。各自懸命に車椅子を押していた。

B班は、疑似体験として、疑似装置を身につけ、車椅子と同じコースを2人一組で歩いた。手首と足首に重りを付け、視野が狭くなるサングラスを付けての歩きに戸惑いながら、子ども達は頑張っていた。杖の使い方がよくわからないようで、体重を支えることより、視野が狭いため、足元を探るような使い方をしていた。

A班、B班を入れ替えて、全員が車椅子に乗り、車椅子を押し、疑似装置を付け、疑似装置を付けた人の介護を行った。学校では出来ない経験であり、良い体験が出来たようである。

終了後は皆、笑顔であった。



#### (6) 水・非常食の運搬

災害時に、子ども達でも簡単にお手伝いできることを覚えてもらいたくて計画したのですが、車椅子の救護に時間を費やし、残念ながら実施出来なかった。

#### (7) 食事



災害時を想定し、食事は非常食、保存の利く水で、食事をした。暖かい味噌汁の差し入れがあり、子ども達も喜んでいました。快晴で日当たりも良く、11月としては暖かい日でしたが風が強く、暖かい味噌汁は良かったのではないのでしょうか。

### 5 実施場所 海老名市消防署

#### (1) 移動

海老名市役所南芝生広場から12時50分に移動を始め、海老名市消防署に会場を移す。

#### (2) 御挨拶

海老名市消防本部予防課防災担当下嶋 重光課長に御挨拶し、下嶋課長指揮の午後子どもエコ防災塾を始める。

#### (3) 消火訓練



海老名市消防署員の方々の御指導の基、消火器の取扱方を教わる。この消火器は訓練に使用するため、中には泡や粉末ではなく水が入っている。手順どおり取扱い、小さな看板を倒すと消火となる。消火器が子ども達には重かったのか、火事だ、119番に連絡して下さいの音が少し小さかったような気がした。皆、真剣に取り扱っていたのが印象的であった。

#### (4) ロープワーク



災害時に救助したり、救助されたりする場面で、必要なロープワークを消防署員の御指導により教わる。本結び、巻き結び、もやい結び、連結結びを教わる。写真は真剣に足を利用して巻き結びの訓練の状況。

#### (5) 起震車での地震体験



起震車に乗って、関東大地震の震度7の揺れを体験。関東大地震は揺れの時間が長く、また机が振動で揺れ動くため、机の下に潜り机の脚をしっかりとつかまえて耐えていました。

#### (6) 消防車の見学

説明を受けながら、装備車、指令車、梯子車、救援車、ポンプ車、救急車等を見学する。

#### (7) 消防署内の見学

説明を受けながら、海老名消防署内部を見学する。



写真は、通信司令室の見学状況である。普段は見る事が出来ない通信司令室の見学が出来、また、見学中に煙が見えたとの119番通報が入り、現場確認の指令を行うのを見て子ども達、皆、驚いたようである。

また、午後4時半の子ども達の帰宅を促すチャイムがここ司令室から発せられることを聞いて、また驚いたようである。

この海老名市消防署通信司令室見学を最後に、本日の子どもエコ防災塾の全行程を終了した。

## (8) 閉塾式



海老名市消防署の食堂で、子ども達は、今日一日の体験状況をかえりみて、アンケートの記入を行った。

アンケートの回収後、閉塾式を行う。

社団法人神奈川県青少年協会の佐藤直樹氏から全員に修了証書を手渡す。

海老名市赤十字奉仕団からのクリアホルダーを受け取り、海老名災害ボランティアネットワークから非常食をおみやげとして受け取る。



参加者一同の集合写真を撮影後、海老名市役所に移動し、解散となる。

参加した子ども達の今日一日の体験が、いつかどこかで何らかの役に立つ場面があると信じます。

### 海老名子どもエコ防災塾協力スタッフ

海老名市 市民協働部市民協働課

企画部企画政策課危機管理担当課

海老名市消防本部

海老名市赤十字奉仕団

社団法人神奈川県青少年協会

社会福祉法人海老名市社会福祉協議会

海老名災害ボランティアネットワーク

以上の団体から総勢 39 名の協力を頂きました。

最後になりましたが「海老名子どもエコ防災塾」にご協力頂いた関係者に厚く御礼申し上げます。

### 海老名子どもエコ防災塾

主催 社団法人神奈川県青少年協会

社会福祉法人海老名市社会福祉協議会

海老名災害ボランティアネットワーク

後援 海老名市

海老名市消防本部

海老名市教育委員会

協力 海老名市赤十字奉仕団

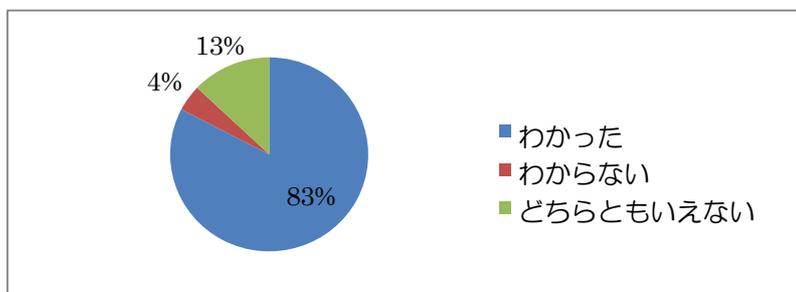
平成21年11月17日

海老名災害ボランティアネットワーク

## アンケート集計結果

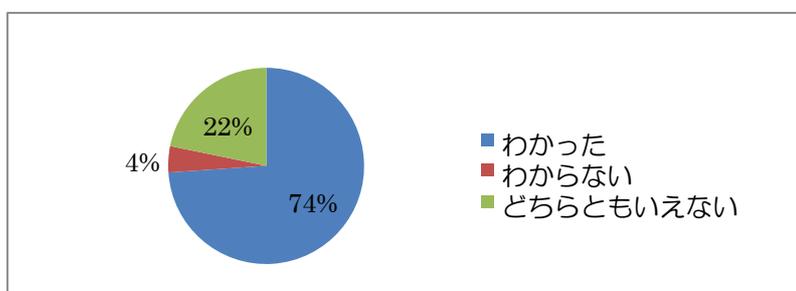
参加者数は23名、アンケート回答者数は23名で回収率は100%でした。

卵殻踏みでガラスの怖さがわかりましたか、の回答



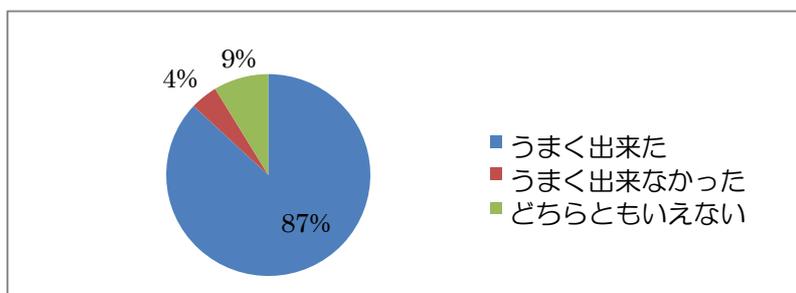
わかった人7名、  
わからなかった人1名、  
どちらともいえない人  
3名です。わからなかつ  
た人は1～2年生の  
男の子です。

小さな傷の手当てはわかりましたか、の回答



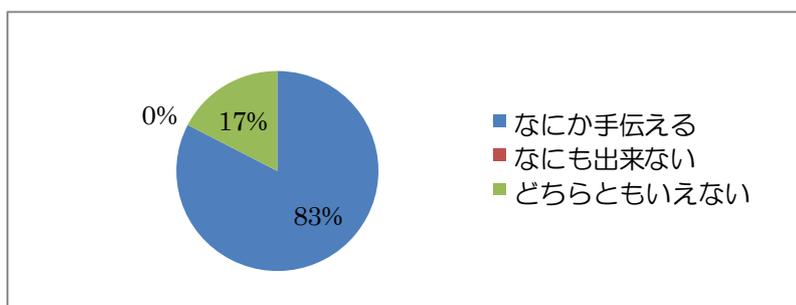
わかった人17名、  
わからなかった人1名、  
どちらともいえない人  
5名です。わからなかつ  
た人は1～2年生の男  
の子です。

車椅子の救援はできましたか、の回答



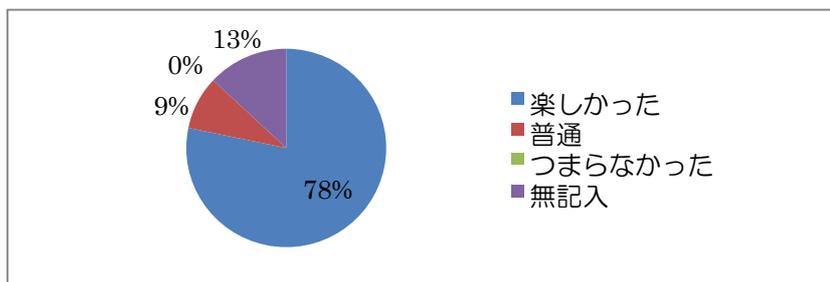
うまく出来た人20名、  
うまくできなかった人  
1名、どちらともいえ  
ない人2名です。うま  
く出来なかった人は1  
～2年生の男の子です。

災害が起こったとき何かできますか、の回答



なにか手伝える人19  
名、どちらともいえ  
ない人4名です。なにも  
出来ない人は居りませ  
んでした。

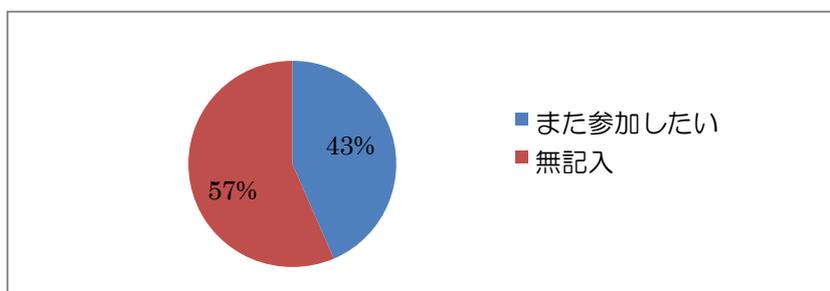
今日一日は、の回答



楽しかった人18名、普通の人2名です。無記入3名、つまらなかった人はいませんでした。なお、無記入3名は

また参加したいに記入していましたので、きっと楽しかったのではと思慮されます。

また参加したい、の回答



また参加したい人10名、無記入13名でした。

となっております。なお、詳細の分析結果は別紙に記載のとおりです。

次に、自由に意見を書いてください覧の状況です。

ひらがなは漢字に変換してありますが原文のままです。

- ・ご飯がおいしかった。また行きたいです。
- ・今日は体験できて良かったです。
- ・車椅子が楽しかった。
- ・火事を無くさなくてはならないと思った。もうちょっと体験が出来ると良かった。通信司令室で本当に火事があったからびっくりした。
- ・車椅子に乗るのが面白かった。卵を踏むのが気持ちいい。
- ・消防署はすごいと思いました。
- ・前にも来たことがあったけどあまり来れる機会がないので、計2回来れて良かったです。
- ・卵割面白かった。
- ・卵殻踏みが面白かった、また参加したいです。
- ・今日一日で消防車のどうやるのかは、わかりました。またやりたいです。
- ・また行きたいです。地震車が楽しかった。
- ・またやりたい。救急車に乗って走って見たい。色々な研究をして良かった。

- ・ 消防車、一日に何回電話が来るんですか。
- ・ 一日に連絡が来るんで一番多いのはいつですか。

上2問の回答：一日の電話は、多い日も有るし、少ない日も有ります。

ある時間に電話が多いという事は有りません。

昨年と今年を比較すると次の様になります。

項 目	昨 年	本 年
119番	6,453件	7,095件
火 災	60件	49件
救 急	4,316件	4,502件
救 助	21件	30件
その他災害	53件	136件

昨年とは1月1日～12月31日の合計です。

今年とは1月1日～11月18日10時51分44秒までの合計です。

\* 表を見ると今年は後43日残っていますが電話の件数は642件多いですね。

- ・ 小さな傷の手当てが良くわかった。卵の殻を踏んだらすごく痛かったです。
- ・ 卵の殻で足を怪我しそうに成りそうだったけど楽しくてまたやりたい。国分寺台四丁目が火事になりそうな煙でパソコンみたいのすごいです。
- ・ 消火器の使い方が良くわかった。卵の殻踏みで、卵の殻が当たって痛かった。けど、ガラスの方がとっても痛いと思った。また参加してもっとわかるようにしたいです。
- ・ 通信司令室で119番が本当になったのがびっくりしました。4寺半のチャイムの操作があそこから？と思いました。ここから、火事、地震のチャイムが鳴ると思いました。勉強になりました。
- ・ 今日、体験をしてみて防災の事が良くわかりました。災害が起きても出来るようにやりたいです。

以上

# アンケート集計結果表

アンケート回収率

参加者数	23	人
回収数	23	人
回収率	100	%

1 あなたは

男	10	人
女	13	人
計	23	

2 あなたは

	男	女	計
1～2年生	2	7	9
3～4年生	4	5	9
5～6年生	4	1	5
計	10	13	23

3 卵殻踏みでガラスの怖さがわかりましたか

	男				小計	計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生			
わかった	1	4	2	7	7	
わからない	1			1	1	
どちらともいえない			2	2	2	
計	2	4	4	10		
	女				小計	計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生			
わかった	7	4	1	12	12	19
わからない				0	0	1
どちらともいえない		1		1	1	3
計	7	5	1	13	13	23

4 小さな傷の手当てはわかりましたか

	男				小計	計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生			
わかった	1	3	2	6	6	
わからない	1			1	1	
どちらともいえない		1	2	3	3	
計	2	4	4	10		
	女				小計	計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生			
わかった	6	4	1	11	11	17
わからない				0	0	1
どちらともいえない	1	1		2	2	5
計	7	5	1	13	13	23

5 車椅子の救援はできましたか

	男				小計	計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生			
うまく出来た	1	4	3	8	8	
うまく出来なかった	1			1	1	
どちらともいえない			1	1	1	
計	2	4	4	10		
	女				小計	計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生			
うまく出来た	7	4	1	12	12	20
うまく出来なかった				0	0	1
どちらともいえない		1		1	1	2
計	7	5	1	13	13	23

6 災害が起こったとき何か出来ますか

	男				計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生	小計	
なにか手伝える	2	3	1	6	
なにも出来ない				0	
どちらともいえない		1	3	4	
計	2	4	4	10	
	女				計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生	小計	
なにか手伝える	7	5	1	13	19
なにも出来ない				0	0
どちらともいえない				0	4
計	7	5	1	13	23

7 今日一日は

	男				計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生	小計	
楽しかった	2	4	2	8	
普通			2	2	
つまらなかった				0	
無記入					
計	2	4	4	10	
	女				計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生	小計	
楽しかった	5	4	1	10	18
普通				0	2
つまらなかった				0	0
無記入	2	1		3	3
計	7	5	1	13	23

また参加したい

	男				計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生	小計	
また参加したい	1			1	
無記入	1	4	4	9	
計	2	4	4	10	
	女				計
	1～2年生	3～4年生	5～6年生	小計	
また参加したい	5	3	1	9	10
無記入	2	2		4	13
計	7	5	1	13	23

3 卵殻踏みでガラスの怖さがわかりましたか(%)

	男		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
わかった	50	100	50
わからない	50		
どちらともいえない			50
	女		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
わかった	100	80	100
わからない			
どちらともいえない		20	

4 小さな傷の手当てはわかりましたか

	男		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
わかった	50	75	50
わからない	50		
どちらともいえない		25	50
	女		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
わかった	86	80	100
わからない			
どちらともいえない	14	20	

5 車椅子の救援はできましたか

	男		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
うまく出来た	50	100	75
うまく出来なかった	50		
どちらともいえない			25
	女		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
うまく出来た	100	80	100
うまく出来なかった			
どちらともいえない		20	

6 災害が起こったとき何か出来ますか

	男		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
なにか手伝える	100	75	25
なにも出来ない			
どちらともいえない		25	75
	女		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
なにか手伝える	100	100	100
なにも出来ない			
どちらともいえない			

7 今日一日は

	男		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
楽しかった	100	100	50
普通			50
つまらなかった			

無記入			
	女		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
楽しかった	71	80	100
普通			
つまらなかった			
無記入	29	20	

また参加したい

	男		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
また参加したい	50		
無記入	50	100	100
	女		
	1～2年生	3～4年生	5～6年生
また参加したい	71	60	100
無記入	29	40	

子どもエコ防災塾 (晴天時用)

始業時間	所要時間	内 容	備 考
9時00分	10分	◎ 会場を決定する ・ 晴天時会場（市役所南芝生広場） ◎ 決定後、会場配置図を用意する ◎ 各担当責任者に会場整備を指示する	
9時10分	20分	◎ 受付場所、開塾式場所等の整備	※会場整備
9時30分	30分	(受付) ◎ 児童を受け付ける ・ 受付した児童の名簿に参加を記入 ・ 配布資料を渡す ・ 班分け名札を渡す ・ 手荷物名札を渡す ◎ 名札に名前を書かす ◎ 開塾式場に案内する  ◎ 主催者等を受け付ける ◎ 来賓等を受け付ける ◎ 開塾式場に案内する	
(10時頃)		◎ 非常食を準備する ・ 非常食に水を注いで、食べられる状態にする	※事前準備
10時00分	1分 4分 4分 1分	(開塾式) ◎ 開塾式開始の言葉 ◎ 主催者挨拶 ◎ 来賓等挨拶 ◎ 開塾式終了の言葉	
10時10分	10分	(座学) ◎ 配布資料の確認 ◎ 「子どもエコ防災塾」を楽しむための安全・衛生の約束集を読み上げて、約束させる。	
10時20分	10分	(卵殻踏み) ◎ 指導者の説明（ガラス破片の怖さを体験させる） ・ 全員が順番に、卵殻を踏む	※体験
10時30分	20分	(小さな傷対応 三角巾の使用方法) ◎ 指導者の説明（三角巾の基本的使用方法） ・ 全員で三角巾の使用方法を習う	※体験
10時50分	20分	(小さな傷対応 小さな傷の手当て) ◎ 指導者の説明 (止血をする、水で洗う、バンドエイドで傷を覆うことの体験) ・ 2班に分かれる ・ A班は、負傷したとする ・ B班は、A班の人の傷を止血し、水で洗い、バンドエイド（キズパワーパット）を貼る ・ A班、B班、入れ替えて行う ※ 経過時間により指導者が行う ・ 傷口にワセリンを塗ったラップを付け、三角巾で覆う	※体験

始業時間	所要時間	内 容	備 考
11時10分	30分	(車椅子救護) ◎ 指導者の説明(避難できにくい人を体験) ・ 2班に分かれる ・ A班は、老人や傷害者を体験 ◎ 指導者の説明(人の運搬を体験) ・ B班は、A班の人を安全な場所へ運び出しを体験 ・ A班、B班、入れ替えて行う	※体験
11時40分	20分	(水・非常食運搬) ◎ 指導者の説明(物資の運搬を体験) ・ A班は、水(ポリ袋、ペットボトル)の運搬を体験 ・ B班は、非常食の運搬を体験 ・ A班、B班、入れ替えて行う	※体験
12時00分	45分	(食事) ◎ 手の消毒 ・ 消毒用ジェルで手の消毒 ◎ 休憩	
12時45分	5分	(移動準備) ◎ 消防署への移動の準備 ・ 手荷物を全て持って移	※休憩終了
12時50分	10分	◎ 消防署への移動	
13時00分	2時間	◎ 消防署の指導員に引き継ぐ	※体験・見学
15時00分	1分 4分 4分 1分	(閉塾式) ◎ 閉塾式開始の言葉 ◎ 主催者等挨拶 ◎ 修了証書授与 ◎ 閉塾式終了	※消防署の広場
15時10分	10分	◎ 体験学習のアンケート記入 ・ 参加児童に記入してもらう	※記入済み後 児童解散
15時20分 15時30分		◎ 終了後片付け ◎ 全員 解散	